

三団体主催「心理職の国家資格化を目指す院内集会」報告

一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構

日本臨床発達心理士会

3月27日三団体主催「心理職の国家資格化を目指す院内集会」が盛況の内に開催されました。

2012年3月27日(火)、16時30分より衆議院第一議員会館大会議室において臨床心理職国家資格推進連絡協議会、医療心理師国家資格制度推進協議会、日本心理学諸学会連合の3団体主催による「心理職の国家資格化を目指す院内集会」が開催されました。国会議員本人96名、秘書100余名が出席し、心理職(臨床発達心理士、学校心理士、特別支援教育士、臨床心理士など)、学会関係者など一般参加者も含め、300人定員の会場に約450名が参加しました。

日本発達心理学会理事長・日心連理事長の子安増生氏の開会挨拶から始まり、民主党の仙谷由人議員、自民党の鴨下一郎議員などが挨拶し、心理師資格の必要性や資格の一本化を評価する発言がなされました。

その後、日本精神神経学会理事・七者懇談会会長、佐藤忠彦氏などから、今回一資格でまとまったことはよかった、といった発言がなされました。発達障害ネットワーク会長・市川宏伸氏が挨拶し、医師、看護師、PSW、OTなどの中で、心理職だけが国家資格でなく、今回まとまってきたのは喜ばしい。チームで発達障害にも貢献してほしい活躍してほしい、などの発言がなされました。

最後に、日本臨床心理士会・村瀬嘉代子氏の挨拶し、学校心理士会・石隈利紀氏が、議員連結成の緊急アピール読みあげ、閉会挨拶を医療心理師国家資格制度推進協議会・織田正美氏が行い、終了しました。

会場は廊下まで人が溢れ、国家資格心理師資格への待望の熱気に包まれました。院内集会は、心理職の国家資格化に向けて、大きな一歩でした。

臨床発達心理士、学校心理士、特別支援教育士の教育・発達心理資格関係者は計137名(うち臨床発達心理士は64名)の参加でした。また、院内集会に向けての、臨床発達心理士会・支部の役員の方々による地元選出議員への陳情は大きな力になりました。

今回の心理師の国家資格化が進んだ背景に、「発達の問題への支援」への社会のニーズの大きさがあるかと思われます。今後は、議員連盟結成に向けて動いていきますが、政局が不安定のこともあり、予断を許しません。今後も国家資格心理師に＜発達の観点＞が十分に反映されるよう、皆さんの協力をお願い致します。

院内集会前の民主党・仙石議員との打ち合わせ



院内集会での仙石議員のあいさつ



満席で立ち見も出る院内集会

